

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

1. 申請者 住所 岐阜県下呂市小坂町落合2383番地
氏名 有限会社濁河温泉朝日荘 代表取締役 松坂靖
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 源泉朝日荘
湧出地 岐阜県下呂市小坂町落合2376-1
採水地 岐阜県下呂市小坂町落合2383番地 朝日荘貯湯タンクにおける分析
3. 採水地における調査及び試験成績
(イ) 調査及び試験者 株式会社神岡衛生社 辻井伸明
(ロ) 調査及び試験年月日 2019年10月8日
(ハ) 泉温 源泉泉温53.5℃(気温12℃)
(ニ) 湧出量 250ℓ/min (掘削による動力揚湯)管理者への聞き取り調査による
(ホ) 知覚的試験 無色透明、弱炭酸味、ごくわずかな硫黄臭を有する。
(ヘ) pH値 6.6 (ガラス電極法)
(ト) ラドン(Rn) 測定せず
4. 試験室における試験成績
(イ) 試験者 株式会社神岡衛生社 辻井伸明
(ロ) 分析終了年月日 2019年11月11日
(ハ) 知覚的試験 微黄色透明、微炭酸味、無臭。
(ニ) 密度 1.000 (20℃/4℃)
(ホ) pH値 6.60 (ガラス電極法)
(ヘ) 蒸発残留物 2087mg/kg (乾燥温度180℃)
(ト) 電気伝導率 279mS/m (25℃)

5. 試料 1 kg 中の成分 分量及び組成

(イ)陽イオン				(ロ)陰イオン			
成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
リチウムイオン(Li ⁺)	0.1	0.02	0.05	フッ化物イオン(F ⁻)	1.4	0.07	0.22
ナトリウムイオン(Na ⁺)	341.7	14.86	43.28	塩化物イオン(Cl ⁻)	184.4	5.20	15.16
カリウムイオン(K ⁺)	57.5	1.47	4.28	臭化物イオン(Br ⁻)	0.4	0.01	0.02
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	—	—	—	よう化物イオン(I ⁻)	—	—	—
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	99.5	8.19	23.85	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	—	—	—
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	194.3	9.70	28.24	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	—	—	—
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.9	0.02	0.06	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—
バリウムイオン(Ba ²⁺)	—	—	—	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	—	—	—
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	—	—	—	硫酸水素イオン(HSO ₄ ⁻)	—	—	—
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.6	0.02	0.06	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	565.7	11.78	34.33
鉄(Ⅱ)イオン(Fe ²⁺)	1.7	0.06	0.17	りん酸二水素イオン(H ₂ PO ₄ ⁻)	—	—	—
鉄(Ⅲ)イオン(Fe ³⁺)	—	—	—	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	1052.4	17.25	50.28
銅イオン(Cu ²⁺)	—	—	—	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	—	—	—				
陽イオン計	696.2	34.34	100.00	陰イオン計	1804.2	34.30	100.00

(ハ) 遊離成分

非解離成分			溶存ガス成分		
成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	275.5	3.53	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	460.7	10.47
メタほう酸(HBO ₂)	14.2	0.32	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—
メタ亜ひ酸(HAsO ₂)	0.06	0.00	溶存ガス成分計	460.7	10.47
非解離成分計	289.8	3.85			

溶存物質(ガス性のものを除く) 2.790 g/kg

成分総計 3.251 g/kg

(ニ) その他微量成分

総ひ素	0.043 mg/kg
総クロム	<0.005 mg/kg
鉛	<0.005 mg/kg
カドミウム	<0.003 mg/kg
総水銀	<0.0005mg/kg

6. 泉 質 : ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉
低張性-中性-高温泉

7. 禁忌症、適応症は別表による

2019年11月11日

温泉成分分析機関登録 岐阜県第3号
岐阜県飛騨市神岡町落合2383番地
株式会社神岡衛生社 技術部長 辻井伸明

温泉分析書別表(浴用)

1. 源泉名：源泉朝日荘
2. 源泉所在地：岐阜県下呂市小坂町落合2376-1
採水地：岐阜県下呂市小坂町落合2383番地 朝日荘貯湯タンクにおける分析
3. 温泉分析申請者：岐阜県下呂市小坂町落合2383番地
有限会社濁河温泉朝日荘 代表取締役 松坂靖
4. 泉質：ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉
低張性-中性-高温泉
5. 分析結果による療養泉分類及び含有成分に基づく禁忌症、適応症等は、平成26年7月1日環境省自然環境局長通知(環自総発第1407012号)によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症：病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

泉質別禁忌症：該当なし

【浴用の適応症】

一般的適応症：筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害など)、病後回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症：きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症

6. 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましい。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

- (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。
- (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよい。
- (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよい。

ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい。)
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

2019年11月11日

温泉成分分析精製登録 岐阜県第3号

岐阜県飛騨市神岡町落雲375番地

株式会社神岡衛生 技術部長 辻井伸明



温泉分析書別表(飲用)

1. 源泉名 : 源泉朝日荘
2. 源泉所在地 : 岐阜県下呂市小坂町落合2376-1
採水地 : 岐阜県下呂市小坂町落合2383番地 朝日荘貯湯タンクにおける分析
3. 温泉分析申請者 : 岐阜県下呂市小坂町落合2383番地
有限会社濁河温泉朝日荘 代表取締役 松坂靖
4. 泉質 : ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-炭酸水素塩・硫酸塩泉
低張性-中性-高温泉
5. 分析結果による療養泉分類及び含有成分に基づく禁忌症、適応症等は、平成26年7月1日環境省自然環境局長通知(環自総発第1407012号)及び平成26年7月1日環境省自然環境局自然環境整備担当参事官通知(環自総発第1407012号)によれば次のとおりである。

【飲用の禁忌症】

含有成分別禁忌症 : 該当なし

【飲用の適応症】

泉質別適応症 : 胃十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、耐糖能異常(糖尿病)、高尿酸血症(痛風)、胆道系機能障害、高コレステロール血症、便秘

7. 飲用の方法及び注意

温泉は、湧出後、時間の経過とともに変化がみられるため、地中から湧出した直後の新鮮な温泉が最も効用があるといわれているが、それぞれの泉質に適する用い方をしなければ、かえって身体に不利に作用する場合もあるので、温泉の飲用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 飲泉療養に際しては、専門的知識を有する医師の指導を受けること。また、服薬治療中の人は、主治医の意見を聴くこと。

イ. 15歳以下の人については、原則的には飲用を避けること。ただし、専門的知識を有する医師の指導を受ける飲泉については例外とすること。

ウ. 飲泉は決められた場所で、源泉を直接引いた新鮮な温泉を飲用すること。

エ. 温泉飲用の1回の量は一般に100~150mL程度とし、その1日の総量はおよそ200~500mLまでとすること。

オ. 飲泉には、自身専用又は使い捨てのコップなど衛生的なものをを用いること。

カ. 飲泉は一般に食事の30分程度前に行うことが望ましい。

キ. 飲泉場から飲用目的で温泉水を持ち帰らないこと。

ク. 飲用する際には、誤嚥に注意すること。

誤嚥とは、うがいや焦って飲むことなどにより、肺や気管に水分を吸い込んでしまうことをいう。なお、嚥下障害を発症している人は飲泉を行わないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

2019年11月11日

温泉成分分析機関登録 岐阜県第3号

岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地

株式会社神岡衛生社 技術部長 辻井伸男



温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

1. 申請者 住所 岐阜県下呂市森960番地
氏名 下呂市町 野村 誠
2. 源泉名及び湧出地 源泉名 市営源泉の混合泉(市営G泉、濁河温泉、市営源泉の混合泉)
採水地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1(市営源泉、混合層、採取口における分析)

3. 採水地における調査及び試験成績

- (イ)調査及び試験者 株式会社 神岡衛生社
(ロ)調査及び試験年月日 平成27年3月25日
(ハ)泉温 供給点での温度54°C(気温-2°C)
(ニ)湧出量 759ℓ/min(掘削による自然湧出)(所有者からの聞き取り調査による)
(ホ)知覚的試験 無色透明、微甘味、わずかに硫化水素臭
(ヘ)pH値 6.5(ガラス電極法)
(ト)ラドン(Rn) 測定せず

4. 試験室における試験成績

- (イ)試験者 株式会社 神岡衛生社 辻井 伸明
(ロ)分析終了年月日 平成27年4月28日
(ハ)知覚的試験 やや白濁、微金気味、わずかに硫化水素臭(試料採取後25時間)
(ニ)密度 1.0003(20°C/4°C)
(ホ)pH値 6.77(ガラス電極法)
(ヘ)蒸発残留物 1878mg/kg(乾燥温度180°C)
(ト)電気伝導部 243mS/m(25°C)

5. 試料1kg中の成分 分量及び組成

(イ)陽イオン

(ロ)陰イオン

成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)	成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)
リチウムイオン(Li ⁺)	0.6	0.09	0.30	フッ化物イオン(F ⁻)	0.3	0.02	0.06
ナトリウムイオン(Na ⁺)	294.1	12.79	44.13	塩化物イオン(Cl ⁻)	136.6	3.85	13.05
カリウムイオン(K ⁺)	54.1	1.38	4.77	異化物イオン(Br ⁻)	0.3	0.00	0.01
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	—	—	—	ヨウ化物イオン(I ⁻)	—	—	—
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	89.0	7.32	25.25	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	—	—	—
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	147.3	7.35	25.35	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.1	0.00	0.01
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	1.1	0.02	0.08	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—
バリウムイオン(Ba ²⁺)	—	—	—	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	—	—	—
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.05	0.01	0.02	硫酸水素イオン(HSO ₃ ⁻)	—	—	—
マンガンイオン(Mn ²⁺)	—	—	—	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	638.8	13.30	45.05
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.8	0.03	0.10	リン酸二水素イオン(H ₂ PO ₄ ⁻)	—	—	—
鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	—	—	—	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	753.5	12.35	41.83
銅イオン(Cu ²⁺)	—	—	—	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	—	—	—				
陽イオン 計	586.9	28.99	100.00	陰イオン 計	1529.6	29.52	100.00

(ハ)遊離成分

非解離成分

(ニ)溶存ガス成分

成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	242.2	3.10	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭素)	385.8	8.77
メタホウ酸(HBO ₂)	10.2	0.23			
メタ亜ヒ酸(HA ₃ O ₂)	0.1	0.00	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—
非解離成分 計	252.5	3.33	溶存ガス成分 計	385.8	8.77

溶存物質(ガス性のものを除く)2.369g/kg

成分総計 2.755g/kg

(ホ)その他微量成分

総クロム	<0.005mg/kg>
鉛	<0.005mg/kg>
カドミウム	<0.005mg/kg>
総水銀	<0.0005mg/kg>

6. 泉 質 : ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-硫酸塩・炭酸水素泉
低張性-中性-高温泉

7. 禁忌症 : 適応症は別表による

平成27年4月28日
温泉成分 岐阜県第3号
岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
株式会社 神岡衛生社 技術部長 辻井伸明

温泉分析書別表(浴用)

- 源 泉 名 市営泉源の混合泉(市営G泉、濁河温泉、市営泉源の混合泉)
- 源 泉 所 在 地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1
採水地 岐阜県下呂市小坂町落合字唐谷2376番地1(市営泉源、混合層、採取口における分析)
- 温泉分析申請者 岐阜県下呂市森960番地
下呂市町 野村 誠
- 泉 質 質 ナトリウム・カルシウム・マグネシウム-硫酸塩・炭酸水素塩泉
低張性-中性-高温泉
- 分析結果による療養泉分類及び有成分に基づく禁忌症、適応症等は、平成26年7月1日環境省自然環境局長通知(環自総務第1407012号)によれば次とおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的適応症： 病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

泉質別禁忌症： 該当なし

【浴用の適応症】

一般的適応症： 筋肉もしくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害など)、疲労回復期、疲労回復、健康増進

泉質別適応症： きりぎりず、抹消循環障害、冷え症、うつ状態、皮膚乾燥症

6. 浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は咲けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- 過度の疲労時には身体を休めること。
- 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましい。
- 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。
- 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

- 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の入浴は避けること。
- 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましい。
- 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよい。
- 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよい。

ウ. 入浴中の注意

- 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- 浴槽から出る時は、立ちくらみを起さないようにゆっくり出ること。
- めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- 身体に付着した温泉成分を塩水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよい。)
- 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

平成27年 4月 28日

平成27年4月28日
温泉成分 岐阜県第3号
岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
株式会社 神岡衛生社 技術部長 辻井伸明